

Kinokawa Riverside National Park

国営木曽三川公園

整備・管理運営プログラム

令和3年6月
国土交通省中部地方整備局



1. 全体計画及び開園状況

(1) 公園の概要、利用者推移および開園状況

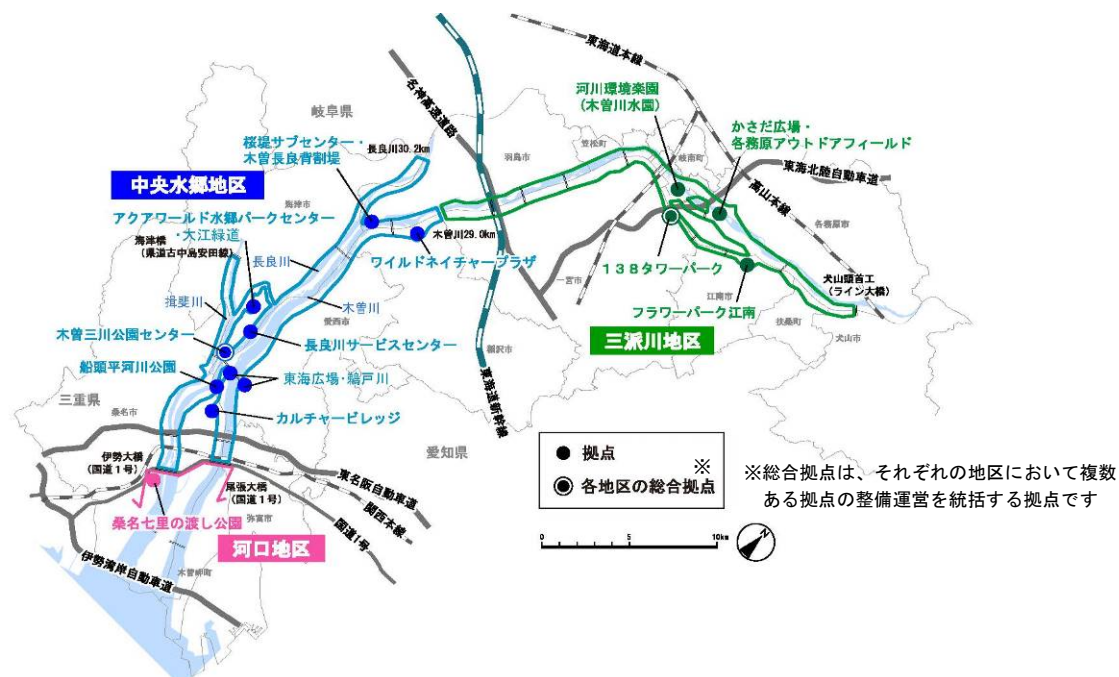
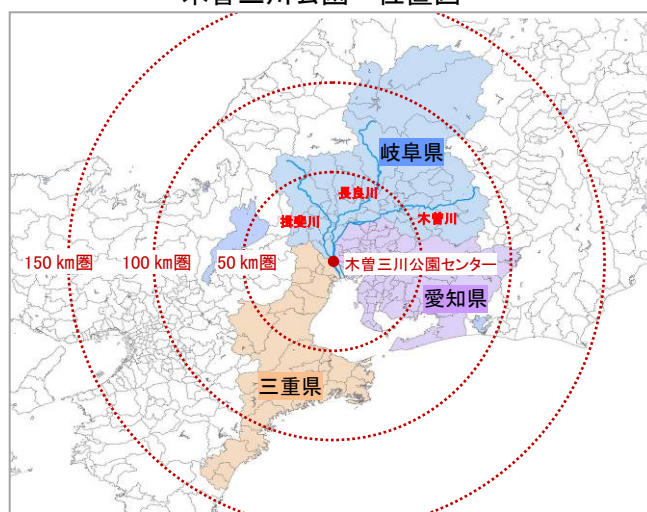
国営木曽三川公園は、木曽川・長良川・揖斐川の木曽三川が有する広大なオープンスペースと豊かな自然環境を活用し、東海地方の人々のレクリエーション需要の増大と多様化に対応するために設置された公園です。川や流域のもつ魅力である自然環境や歴史文化そして広域的な広がり・つながりをいかしながら、これらを守り・感じ・楽しみ・学ぶ場として整備を進めています。

本公園は三派川地区・中央水郷地区・河口地区の3地区（計画面積約6,100ha）からなり、13拠点（約290.0ha）が開園しています。令和元年度には年間約960万人に来園いただきました。

この整備・管理運営プログラムは、社会資本整備重点計画の計画期間にあわせて、国営木曽三川公園の令和3～7年度までの整備及び管理運営に関する重点項目などを策定し公表するものです。

なお、本プログラムは、社会情勢の変化や事業の進捗状況等を踏まえ、適宜見直しを行っていきます。

木曽三川公園 位置図



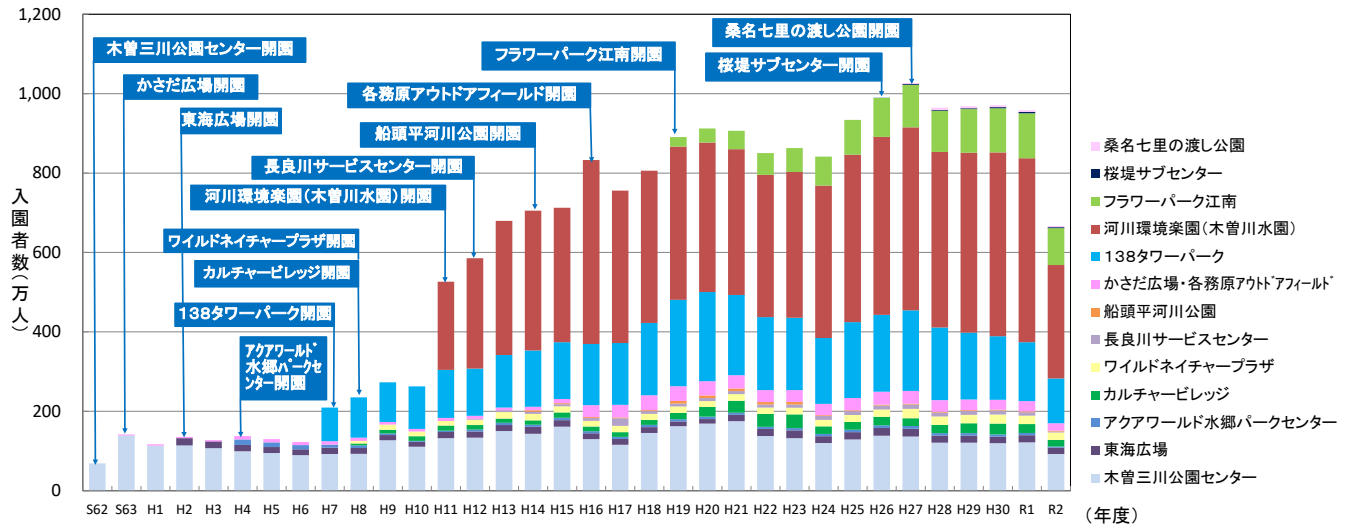
計画面積（都市計画決定面積）、供用面積

（単位：ha）

地区名	計画面積（都市計画決定面積）				供用面積
	堤内地	堤外地		計	
		高水敷	水面		
三派川地区	64. 5	1,006. 4	1,371. 0	2,441. 9	108. 3
中央水郷地区	80. 6	803. 1	2,752. 0	3,635. 7	180. 6
河口地区	2. 2	7. 4	0. 0	9. 6	1. 1
計	147. 3	1,816. 9	4,123. 0	6,087. 2	290. 0

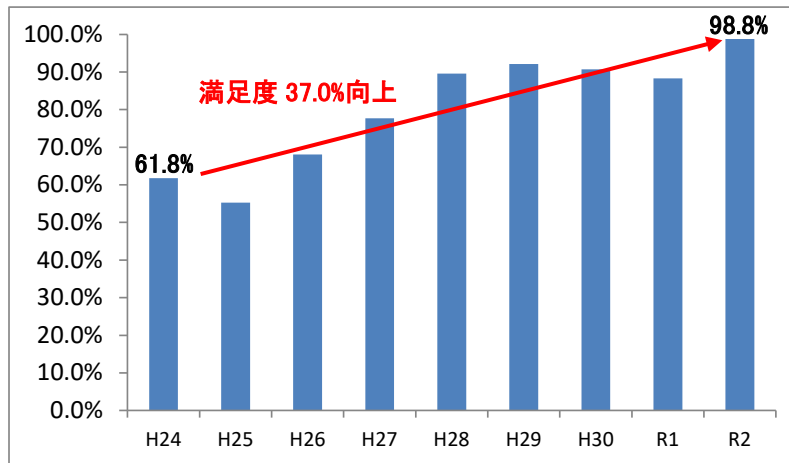
（令和3年3月末日現在）

利用者数の推移



※令和2年度入園者数は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を受け減少

公園の管理に対する満足度の推移(木曽三川公園全体)



供用経緯

計画決定・供用開始年	基本計画に関わる経緯・拠点名	現在の供用面積
昭和 51 年	東海3県一市知事市町会議において「木曽三川公園構想」提示	—
昭和 54 年	公園全体の基本構想、基本理念の策定	—
昭和 55 年	中央水郷地区基本計画の策定	—
昭和 56 年	中央水郷地区の都市計画決定	—
昭和 59 年	三派川地区基本計画の策定	—
昭和 62 年	三派川地区の都市計画決定	—
昭和 62 年	木曽三川公園センター 供用開始	11.0ha
昭和 63 年	かさだ広場・各務原アウトドアフィールド 供用開始	34.8ha
平成元年	河口地区基本計画の策定	—
平成 2 年	東海広場・鶴戸川 供用開始	21.3ha
平成 4 年	アクトワールド水郷パークセンター・大江緑道 供用開始	8.4ha
平成 7 年	138タワーパーク 供用開始	26.4ha
平成 8 年	カルチャービレッジ 供用開始	14.2ha
平成 8 年	ウィルドネイチャープラザ 供用開始	26.7ha
平成 11 年	河川環境楽園(木曾川水園) 供用開始	33.7ha
平成 12 年	長良川サービスセンター 供用開始	88.8ha
平成 14 年	船頭平河川公園 供用開始	2.7ha
平成 19 年	七里の渡し地区の都市計画決定	—
平成 19 年	フラワーパーク江南 供用開始	13.4ha
平成 27 年	桜堤サブセンター・木曽長良背割堤 高水敷エリア供用開始	7.5ha
平成 27 年	桑名七里の渡し公園供用開始	1.1ha

各拠点の概要



「138タワーパーク」

<地区の概要>

木曽川河口から約57km地点より犬山頭首工までの延長約28kmの地区。砂礫河原、ワンド、樹林地など変化に富んだ自然環境がみられる。また、猿尾堤など江戸期の治水事業の跡が残るほか、木材などの物資輸送の中継基地であった川湊や渡し跡が分布していることが特徴となっている。

フラワーパーク江南【愛知県江南市】

四季折々の植物に囲まれた心安らぐ空間を演出した公園。公園の象徴的建物である「クリスタルフラワー」では、花と緑に関する展示紹介や体験活動を実施している。

かさだ広場・各務原アウトドアフィールド【岐阜県各務原市】

豊かな河川の緑に囲まれた大芝生広場が整備され、各種スポーツやレクリエーション、ピクニックなどに利用されている公園。広大な河川空間と豊かな自然を巡る園路の散策やサイクリングが楽しめる。

河川環境楽園(木曽川水園)【岐阜県各務原市】

川や自然を様々な視点で学び、楽しむことができる「木曽川水園」や「自然発見館」等が整備されている公園。また、県営公園の「オアシスパーク」「世界淡水魚園」やNEXCO 中日本の「ハイウェイオアシス」等が併設された複合公園である。

138タワーパーク【愛知県一宮市】

三派川地区の総合拠点として整備され、地域のランドマークである展望タワー(ツインアーチ 138)からは濃尾平野の雄大な景観を眺望できる公園。「お花畑」「自然体験館」「もくもくパラダイス」「ふわふわドーム」等の様々な施設が整備され、遊び、イベント、サイクリングまで幅広く楽しめる。



「木曽三川公園センター」

<地区の概要>

木曽川、長良川、揖斐川の三川が接する地点を中心とした延長約20kmの地区。ワンド、ヨシ原、干潟、河岸砂丘など多様な水辺がみられる。また、宝暦治水や明治改修などの治水事業の遺産が各所にみられ、水郷地帯特有の景観や生活文化が感じられることが特徴となっている。

木曽三川公園センター【岐阜県海津市】

中央水郷地区の総合拠点として整備され、シンボルである「展望タワー」から木曽三川の雄大な流れや輪中地帯独特の水郷景観が一望できる公園。木曽三川の歴史と自然を学べる「水と緑の館・展示室」や季節の花で飾られる「大花壇」、「大型遊具」「芝生広場」「輪中の農家・水屋」などの施設が整備され、遊びからレクリエーション、学びまで幅広く楽しめる。

船頭平河川公園【愛知県愛西市】

国の重要文化財「船頭平閘門」に隣接しており、ハスやカキツバタ、キショウブ、スイレンなど多彩な水生生物を観察できる公園。

ワイルドネイチャープラザ【愛知県稲沢市】

全国的にも珍しい河岸砂丘(祖父江砂丘)を保全・活用している公園。ウィンドサーフィンなどの水上スポーツが楽しめるほか、子供に人気の木製遊具や「ピクニック広場」が整備されバーベキューやデイキャンプも楽しめる。

桜堤サブセンター・木曽長良背割堤【岐阜県羽島市】

木曽川・長良川の背割堤上流端に位置し、「多目的広場」「チビッコ広場」「ピクニック広場」「歴史展示広場」などが整備されている公園。木曽・長良背割堤の自然と、歴史を楽しみ遊びながら学習できる。

長良川サービスセンター【岐阜県海津市】

「長良川国際レガッタコース・2000m」「サッカーグラウンド」などが整備されている公園。ビーチバレーやボート、カヌーなど、長良川の河川敷や水辺を利用した様々なスポーツやレクリエーションが楽しめる。

アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道【岐阜県海津市】

木曽三川に囲まれた自然環境や歴史文化を学ぶことができる公園。水郷地域の文化と風景を再現した「堀田(ほりた)」や、オランダの水郷地帯をイメージした「風車」が整備されている。また、環境教育の発信拠点として水郷地域の自然環境や歴史文化にちなんだプログラムを多数実施している。

東海広場・鶴戸川【愛知県愛西市】

木曽川右岸の「西エリア」と木曽川左岸の「東エリア」で構成される河川敷公園。広大な芝生が広がる「一万人広場」、多様な使い方ができる「芝生広場」、「バーベキュー場」、「パークゴルフ場」などの施設が整備され、各種スポーツやレクリエーション、デイキャンプ等が楽しめる。

カルチャービレッジ【三重県桑名市】

屋根付きの多目的運動場「輪中ドーム」や広々とした芝生広場、大型遊具等の施設が整備された公園。スポーツやレクリエーション等が楽しめ、全天候型の「輪中ドーム」ではテニス、フットサルなどが楽しめる。



「河口地区全景」

<地区の概要>

伊勢大橋より南の長良川・揖斐川下流域の地区。広大な水面とヨシ原、干潟など汽水域の自然環境がみられる。また、七里の渡し跡の周辺には水運基地として栄えた桑名の歴史を物語る文化財群がみられるほか、多くの地域が干拓によって形成されてきたことが特徴となっている。

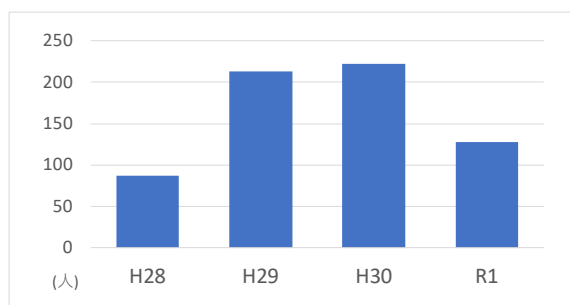
桑名七里の渡し公園【三重県桑名市】

国の重要文化財である「六華苑」や「諸戸氏庭園」などに隣接しており、地域の歴史と文化をテーマとした公園。流れる「せせらぎ」や「芝生広場」が整備され、ゆっくりとくつろぐことができる空間の広がりを楽しめる。

(2) 公園のストック効果

1) 木曽三川の自然環境や歴史・文化への理解を深める効果

河川ならではの自然環境の連続性確保に配慮した公園整備により、広域的な水と緑のエコロジカルネットワーク形成に貢献するとともに、木曽川・新境川など、水辺に囲まれた公園の立地条件をいかした、水辺の生き物とのふれあいを気軽に体感することのできる環境教育プログラム（河川環境楽園）の展開や、新しく整備した「堀田」を活用した田植え・稲刈りの体験プログラム（アクアワールド水郷パークセンター）で輪中の文化を学んでもらう取組みにより、地元の方々はもとより、他の地域から訪れる多くの人に対して、木曽三川の自然環境や歴史・文化への理解を深める効果を生んでいます。



田舟乗船体験（アクアワールド水郷パークセンター）



稲刈り体験プログラム（アクアワールド水郷パークセンター）

アクアワールド水郷パークセンター 堀田に関連するイベントの参加人数
（※アクアワールド水郷パークセンター堀田エリアは H28 年 10 月一部供用開始）

2) 地域の観光振興への波及効果

イルミネーションイベント（138 タワーパーク）、かわしま燦々夏まつり（河川環境楽園）、水辺マルシェ（桑名七里の渡し公園）など、地域との共催による多くの開催の場として活用されています。また海津アクアマルシェ、桑名水郷舟めぐりなど、地元地域の歴史・文化や産業と結びついたイベントの開催によりにぎわいを創出しています。これらにより、県外も含めた多くの方が来園することで、地域における開催等の広域レクリエーション、観光・周遊ネットワークの活性化に寄与し、地域の観光振興への波及効果を生んでいます。



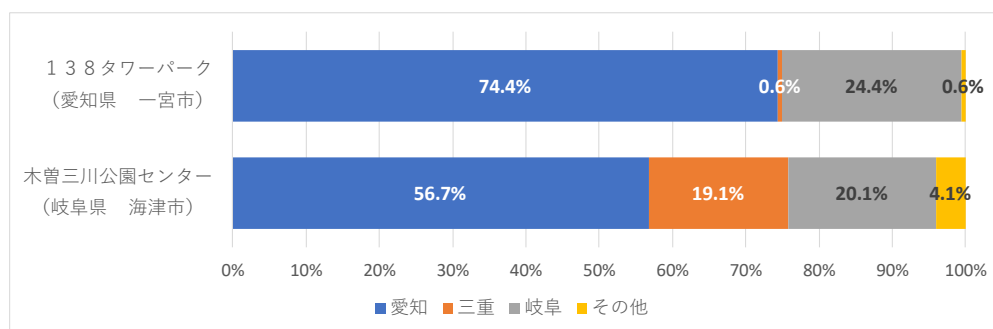
イルミネーションイベント約 105,000 人
/R1.12（138 タワーパーク：一宮市）



かわしま燦々夏まつり 約 53,500 人
/R1.7（河川環境楽園：各務原市）



水辺マルシェ 約 8,000 人/H30
（桑名七里の渡し公園：桑名市）



来園者居住地（R1 年度利用実態調査）

3) 地域における防災・減災への貢献

河川環境楽園が南海トラフ巨大地震における TEC-FORCE(*1) 活動計画（受援計画）の広域進出拠点（以下「TEC-FORCE の広域進出拠点」と言う）として位置付けられているほか、沿川自治体の地域防災計画においても、各拠点が広域避難地や一次避難地に指定されています。また原子力災害対策重点区域内の自治体の広域避難計画において、避難経路所に指定されています。

こうした災害時の利用に配慮した整備を行うとともに、防災訓練の場としても有効活用されるなど、地域の防災・減災に貢献しています。



公園を利用した防災訓練 R1.6
(東海広場)

自治体の地域防災計画等における国営木曽三川公園の位置づけ

地区名	拠点名	自治体名	地域防災計画名	国営木曽三川公園の位置づけ
三派川地区	フラワーパーク江南	江南市	江南市地域防災計画	広域避難地
	138タワーパーク	一宮市	一宮市地域防災計画	広域避難地
	河川環境楽園	国交省	TEC-FORCE活動計画	広域進出拠点
中央水郷地区	長良川サービスセンター	海津市	海津市地域防災計画	一次避難地
	アクアワールド水郷パークセンター	海津市	海津市地域防災計画	一次避難地
	木曽三川公園センター	海津市	海津市地域防災計画	一次避難地
	カルチャービレッジ	桑名市	桑名市地域防災計画	一次避難地
	カルチャービレッジ	袋井市	原子力災害広域避難計画	避難経路地

(*1) TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）

- ・大規模自然災害が発生し自治体職員だけでは対応が困難な場合に、いち早く被災地へ出向き、被災自治体の支援を行う体制のことで、平成 20 年に国土交通省に創設されました。

2. 令和7年度までの整備及び管理運営の方針等

本公園では、木曾三川の雄大な景観や多様な自然環境、人々と洪水との闘いがしのばれる数多くの歴史・文化資源等をいかしながら、河川とのつながり、拠点間のつながり、地域との連携を重視し、各拠点の魅力の向上を図りながら公園づくりに取り組んでいます。

開園から30年が経過しようとする現在、園内施設の老朽化への対応や、近年のレクリエーションニーズの多様化に対応したリニューアルが必要となっています。

また、将来の利用を見据えた持続可能で質の高い公園運営を行うため、水辺の自然環境と地域の歴史文化の保全・活用の取り組みを継続しつつ、既存のストックをより一層有効活用することで、地域活性化に資する観光資源としての役割を強化することが必要です。さらには、激甚化する災害に備え、地域防災に係る機能を強化していくことが求められています。

このような状況を踏まえ、令和7年度までの整備及び管理運営の重点事項を以下のように定めました。

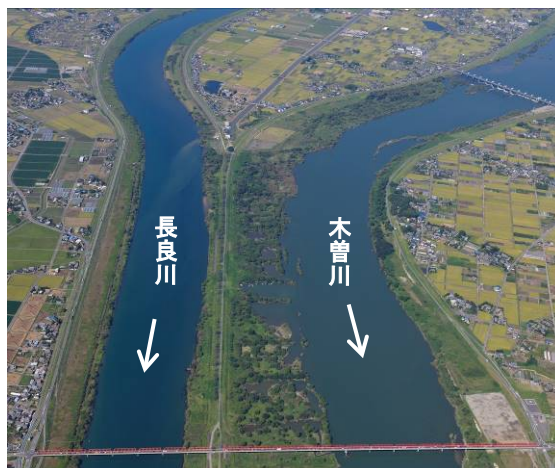
(1) 今後5年間の整備・管理運営の重点事項

①水辺の自然環境や広大な水面・河川敷をいかします

木曾三川固有の河川環境・生物多様性の保全・再生に留意しながら、川の雄大な景観を楽しめる場の提供や水辺に近づける場の整備など、川の魅力を多面的に感じていただくための取り組みを進めます。

また、環境教育プログラムの充実やきめ細かい植物管理など、国営公園ならではの高度な管理運営を行うことで、河川環境の利用及び保全・再生に資する取り組みを進めます。

さらに、広大な水面と河川敷、および水上スポーツ等の拠点としての機能をいかし、アウトドアスポーツ、レクリエーション、健康づくりの場として、利用促進を図ります。



ケレップ水制周辺に形成された自然豊かな環境が連続する
桜堤サブセンター・木曾長良背割堤付近

②歴史文化資源をいかします

先人による治水事業の推進、水郷の暮らし、かつての街道や舟運の交通結節点といった、木曾三川固有の歴史・文化資源をいかし、それらを体験・学習することのできる施設の整備や周辺の地域資源と国営公園との連携の強化により、個性的で魅力あふれる拠点の整備・管理運営を進めます。

③地域と連携し、地域の活性化に寄与します

広い範囲に拠点が存在する特色をいかし、ひとつの公園として、より高い効果を発揮するため、拠点間を結ぶネットワークの整備や複数の拠点が連携した取り組みを推進します。

また、広域レクリエーションの充実、観光・周遊ネットワークの形成、地場産品の活用、訪日外国人旅行者向けサービスの向上などにより、関係人口の増大による地域のヒト・モノの交流を促進する役割を果たします。併せて、周辺のまちづくり・公園や緑地、地域の方々と連携した取り組みを進めます。

④より安全・快適で、効率的・経済的な整備・管理運営を進めます

高齢者、障害者、子育て世代、訪日外国人旅行者など、あらゆる利用者が、安全・快適に公園を利用していただけるよう、既存ストックの機能の検証を行い、必要な機能改善やユニバーサルデザインに配慮した施設を整備するとともに、民間事業者との連携を進めサービス向上を図ります。

また、予防保全の考え方を取り入れた長寿命化計画を踏まえ、より維持管理が容易な施設への更新や情報技術の活用により効率的・経済的な整備・管理運営を進めます。



車いすやベビーカーの方にも楽しめる施設（木曽三川公園センター）

⑤防災機能向上の取り組みを進めます

TEC-FORCE の広域進出拠点として位置付けられている河川環境楽園や、地域防災計画における広域避難地や一次避難地として位置づけられている拠点について被災時に適切な役割が果たせるよう、関係機関との連携を図り、防災機能向上に取り組み、安全・安心な地域社会づくりに寄与します。

⑥SDGs を推進します

木曽三川固有の河川環境や生物多様性の保全・再生（目標 6、15）、地域固有の歴史文化資源の活用や周辺のまちづくりにおける地域の方々との連携（目標 11）、これらによる地域の活性化（目標 8）、さらにはカーボンニュートラルへの貢献や防災機能の向上（目標 13）に努め、SDGs を推進します。

目標 6：すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

目標 8：包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する

目標 11：包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する

目標 13：気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

目標 15：陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

（２）整備方針

①自然環境をいかした整備を進めます

- ・フラワーパーク江南Ⅱ期エリアでは、樹林の散策や植物観察が楽しめ、自然とふれあえ、遊べる「故郷の森」として、既存樹木、生物等を保全・活用しながら、早期開園を目指して引き続き整備を進めます。
- ・ワイルドネイチャープラザでは、木曽川特有の河岸砂丘（祖父江砂丘）の保全・再生を引き続き進めます。また、樹林の適切な管理により多様な鳥類の生息地を保全するとともに、ウィンドサーフィンやサンドアートなど水面や砂丘の利活用促進を図るため、新たに市民との協働の活動拠点の整備を進めます。

②歴史・文化を体験、学習できる整備を進めます

- ・木曽三川公園センターでは、「水と緑の館」について、高速・大容量通信が可能な 5G 技術の活用や、機械学習等の AI 技術を用いた展示施設の導入などを検討しつつ、展示施設の再整備に取り組み、地域の歴史文化や自然環境を学習できる総合的な施設として情報発信の機能充実を図ります。
- ・アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道では、水郷景観をいかした環境学習・歴史学習の場である「堀田北エリア」の追加開園を目指し、園路広場や修景施設の整備を引き続き進めます。

- ・桑名七里の渡し公園では、地区を象徴する特徴的な歴史資源である「七里の渡し」を中心とした「七里の渡し地区」について、引き続き計画検討、設計、整備を進めていきます。

③レクリエーション空間の充実に向けた整備を進めます

- ・桜堤サブセンターでは、様々なレクリエーションを楽しみながら自然と治水の歴史を学ぶことができる「堤内地エリア」の整備を引き続き進めます。
- ・アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道では、水郷景観を散策して楽しめる「万寿新田広場」や園路、トイレ等の新たな整備を進めます。

④安全・安心で利用しやすい公園づくりを目指した整備を進めます

- ・木曽三川公園センターでは、老朽化が進む「水と緑の館」の再整備を行うとともに、展望タワーの耐震化を図ります。
- ・老朽化した遊具の再整備や、アジア地域などからの来園者増加に伴う案内看板の多言語化、高齢者の利用増加に対応したトイレへの手すり設置など、安全・安心・快適に公園を利用して頂くための整備を引き続き進めます。

（３）管理運営方針

①木曽三川ならではの川に親しみ学ぶ場や歴史文化に触れることのできる場を提供します

- ・ワイルドネイチャープラザ等では、ビロードテンツキなど希少種の保全活動や、オオキンケイギクなどの外来種の駆除イベントといった、多様な環境教育プログラムの充実に努め、引き続き水辺をフィールドとして、自然環境への理解や自然保護に対する人々の関心を高める取組みを進めます。
- ・治水の歴史や輪中の暮らし、堀田に代表される水郷文化など、木曽三川にまつわる歴史文化の学習機会の充実に努めることで、地域への関心を高める取組みに寄与します。
- ・水と緑の館の展示施設の再整備を契機として、5G技術やAI技術など最新技術の活用を検討しつつ、木曽三川の自然と歴史・文化を体験・体感できる新たな取組みを進めます。



オオキンケイギク駆除イベント
(かさだ広場)

②地域活性化に向け、沿川自治体や河川管理者と連携した取り組みを進めます

- ・沿川自治体と連携したマルシェの開催などのイベントの充実、SNSを活用した情報発信等により集客力を高め、観光拠点の場として地域の活性化に貢献します。
- ・木曽川上流域自転車道整備活用推進会議等の場を活用し、沿川自治体や河川管理者と連携した自転車道の整備、活用を進め、拠点間や地域とのネットワークを強化して広域交流を促進します。
- ・東海広場や船頭平河川公園では、地元の愛西市が進めるかわまちづくりの取り組みとの連携など、木曽三川の資源をいかした周遊利用の促進に資する取り組みを引き続き進めます。



海津アクアマルシェ
(アクアワールド水郷パークセンター)

③地域の活力向上に向け、地域の方々や企業との協働による運営を促進します

- ・フラワーパーク江南等では環境教育プログラムやイベントサポート、公園ガイド、草花ガーデナーなど地域の方々との協働で実施する活動を増やすとともに、活動の幅がひろがるよう、市民の方々との意見交換を進めます。
- ・地域や民間企業との連携を図り、桑名市や海津市によるマルシェの開催など、地域の情報発信や地場製品の販売などを促進し、公園の魅力向上と地域の活力向上を目指します。



ボランティアによる活動（フラワーパーク江南）

④安全・快適に利用いただける施設とサービスを提供します

- ・小さなお子様から高齢者まで多様な年代の利用者が、安全・快適に利用いただけるよう、エレベータの耐震化や、段差の解消、快適なトイレの整備等を進めます。
- ・障がいのある方や高齢者、小さなお子様連れの方も楽しめるパラトライアスロンやふれあいマラソンなど、多様なスポーツ・レクリエーションの充実に引き続き努めます。
- ・アジアなどからの訪日外国人旅行者を含む利用者へのサービス向上や利用促進を図るため、案内サイン等のデザインの統一及び多言語化を図るとともに、利便性向上のため Wi-Fi 環境の整備等を引き続き行います。
- ・利用実態調査を通じて、幅広い世代の利用ニーズの把握に努め、日常の運営管理に柔軟に反映するとともに、情報技術や新技術を活用した、より快適で便利、かつ安全・安心なサービスの提供について検討を進め、利用者の満足度の向上を図ります。
- ・新型コロナウイルスへの感染予防対策として、三密対策、除菌・検温機器の設置、園内施設の消毒や利用者への注意喚起などを実施します。



障がいのある方をはじめ誰もが楽しめる
スポーツ・レクリエーションの充実
(長良川サービスセンター)

⑤既存施設の適切な修繕等を進め、効率的・経済的な維持管理を行います

- ・最新の老朽化状況を踏まえて長寿命化計画の更新を進め、予防保全型管理により、引き続きトータルコストの削減とストック効果の最大化に努めます。
- ・施設の更新に際しては、LED 照明への転換など省エネルギー機器の導入の推進や、太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用検討を進め、環境負荷の低減に貢献します。
- ・植栽について、既に管理方針を策定済みの拠点に加え、かさだ広場・各務原アウトドアフィールドなど、各拠点の特性に応じた管理方針や目標を設定し、緑の質の確保と良好な景観形成が実現できるよう、中長期的な視点で適切な維持管理を行います。
- ・引き続き公園管理者として必要な知識を習得出来る遊具の日常点検講習会などへの参加を促進し、管理のための人材を育成していきます。
- ・維持管理の高度化・効率化を図るため、情報技術や新技術の活用について検討を進めます。

⑥災害時に避難地や防災拠点として機能するよう備えます

- ・TEC-FORCE の広域進出拠点、沿川自治体の広域避難地や一次避難地等として指定されている拠点では、災害時に機能するよう自治体との連携体制の確立を図るとともに、訓練や防災意識向上に繋がるイベント等を行い、地域の防災・減災に貢献します。



南海トラフ巨大地震防災訓練（R2.2）
(河川環境楽園)

（４）各拠点の整備・管理運営方針

三派川地区

フラワーパーク江南

テーマ『花とみどりの学習』

都市緑化の学習拠点をめざして整備したⅠ期エリアでは、季節や環境、テーマなどに応じた緑化・花卉修景、花とみどりに関する展示紹介や体験活動を行っています。また、ボランティア団体等との協働・連携を更に促進し、みどりの質の確保、五感で楽しめる園芸の充実を図っています。

Ⅱ期エリアについては、樹林の散策、植物観察、自然とふれあえ、遊べる「故郷の森」として、既存樹木、生物等を活用・保全しながら整備し、早期開園を目指します。



Ⅰ期エリアの花壇管理(ボランティア)



Ⅱ期エリアの整備イメージ

かさだ広場・各務原アウトドアフィールド

テーマ『河川の広大な空間と豊かな自然』

広大な河川空間と豊かな自然の中で健康づくりやレクリエーション、自然散策などが楽しめる場となるよう整備を進めています。また、地域と連携したスポーツ・レクリエーションイベントの開催等による利用促進に取り組んでいます。

今後は、未開園区域の整備推進に向けた検討を進めるほか、当地区の広大な空間や自然環境を活かしながら、地域と連携したイベントの開催や利活用による魅力の向上を図ります。



岐南町ふれあいマラソン



スポーツ・レクリエーションイベント



※この図は各拠点の概ねの位置を示したものであり、赤い点線で図示した範囲にはすでに開園している区域や令和8年度以降に整備予定の区域も含まれています。

河川環境楽園（木曽川水園）

テーマ『川の自然と文化の環境共生型テーマパーク』 木曽川水園の役割～「木曽川が育んだ自然や風土・文化を遊びながら学ぶ」

「木曽川水園」では、隣接する研究施設やNPOと協働・連携しながら、環境教育プログラムの提供や指導者育成に取り組んでいます。

今後は、老朽化した施設のリニューアルにより、魅力の向上を図るほか、地域の自然や歴史を活かした環境学習の充実を図ります。また、災害時には TEC-FORCE の広域進出拠点として円滑な災害支援に資するよう、機能を確保します。



環境学習活動



木曽川水園（農家と河原）

138タワーパーク

テーマ『三派川地区の総合拠点』

三派川地区の自然や歴史文化を幅広く紹介・情報発信するとともに、多くの人々が集い、交流する総合拠点として位置づけています。木曽川の雄大な流れを眺望できる「ツインアーチ138」をはじめ、大規模な施設を整備しています。また、花やイルミネーションなど年間を通じて様々なイベントを開催しています。

今後は、魅力的な公園として管理運営を進めるとともに、サイクリングネットワークの総合拠点として沿川自治体と連携した利活用を推進します。



ツインアーチ138



イルミネーション

中央水郷地区

ワイルドネイチャープラザ

テーマ『祖父江砂丘の保全と活用』

木曽川特有の河岸砂丘(祖父江砂丘)と水面を活かし、ウィンドサーフィン・サップヨガ等の水辺レクリエーションを楽しめるよう、水辺に近づきやすい川岸やトイレ・シャワー、バーベキューが楽しめるピクニック広場、デイキャンプ場などを整備しています。

今後は、隣接する県営公園との連携を強化するための再整備、さらなる利用促進を図るため市民との協働の活動拠点や自転車道等の整備を推進します。また市民・学識者等と協働・連携して、祖父江砂丘の保全・再生や貴重種保全の取組み、および樹林の適切な管理による多様な鳥類の住処の保全等を進めます。



水辺レクリエーション



稲沢サンドフェスタ

桜堤サブセンター・木曽長良背割堤

テーマ『背割堤周辺の自然と歴史』

広域に連なる国営木曽三川公園のほぼ中央部に位置する拠点で、ワンドやオギ原、ヤナギ林など木曽長良背割堤に残る豊かな水辺環境の保全と、ケレップ水制や桜並木などの歴史遺産に触れることができる場をめざし整備を進めており、平成27年3月に高水敷エリアを開園しました。

今後は、自然と治水の歴史を学ぶ場となり、サイクリング利活用拠点や防災機能を有する堤内エリアについて、近隣にある市の防災ステーションとの連携に留意しつつ、整備を推進します。



桜並木(木曽長良背割堤)



高水敷エリアの利用状況

※この図は各拠点の概ねの位置を示したものであり、赤い点線で図示した範囲にはすでに開園している区域や令和8年度以降に整備予定の区域も含まれています。

アクアワールド水郷パークセンター
・大江緑道

長良川サービス
センター

ワイルドネイチャープラザ

桜堤サブセンター
・木曽長良背割堤



長良川サービスセンター

テーマ『水上スポーツ』

広大な水面と河川敷をいかした多様な水上スポーツ・レクリエーションの拠点として整備を進め、競技スポーツから障がい者スポーツまで、様々な層の利用者に親しまれるとともに、指導者育成の場としても活用されています。

引き続き、競技団体等との連携を深め、長良川国際レガッタコース、河川敷の各種競技施設やセンターハウスの各施設の利用促進を図りながら、多様なスポーツ・レクリエーション拠点として、一層の充実を図ります。



水面を利用した競技大会や体験活動



各種スポーツの競技大会の誘致

アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道

テーマ『水郷の自然と風景』

アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道は、市民団体やNPO等とパートナーシップを結び、環境学習や文化活動など幅広い市民活動の場として利用されています。

今後は、堀田北エリアの整備を完了し、アクアワールド水郷パークセンターの全面開園を目指すとともに、大江川の下流に位置する万寿新田広場の整備を進めます。また市民団体やNPO等との連携を深めながら、水辺環境や水郷景観(堀田)に親しむレクリエーションや、歴史・環境などの体験学習の充実を図ります。



パークパートナー棟



水郷景観(堀田)体験学習

中央水郷地区

木曽三川公園センター

テーマ『中央水郷地区の総合拠点』

中央水郷地区の自然や歴史文化を幅広く紹介・情報発信するとともに、多くの人々が集い、交流する総合拠点として位置づけています。展望タワーから木曽三川の雄大な流れや輪中地域独特の地形を眺望できるほか、「水と緑の館」では映像などで木曽三川にまつわる歴史文化等をわかりやすく紹介しています。また、年間を通じて花のイベントやイルミネーションなど、様々なイベントを開催しています。

今後は水と緑の館の改修と併せ、最新の技術を活用した展示施設の再整備を実施し、「地域の歴史文化や自然環境」を周知・学習する総合拠点として情報発信の充実を図ります。また、民間活力を導入した飲食施設の整備を図るなど、公園利用者の利便性及び魅力向上に取り組めます。



展望タワー

東海広場・鵜戸川

テーマ『水辺の自然と広大な空間』

水辺の自然に親しみながら、広大な空間の中で各種スポーツやイベント、デイキャンプなど様々な屋外レクリエーションを楽しむことができる場として利用されています。

令和元年には、パークゴルフ場の整備が完了し、日本パークゴルフ協会より公認コースとして認定されました。

引き続き、既存ストックの有効活用を図るためにも適切な維持管理を行い、多様な屋外レクリエーション空間を提供できる場として利用促進を図ります。



パークゴルフ



デイキャンプ場



船頭平河川公園

テーマ『木曽三川の水生植物』

水に囲まれた立地をいかし、ハスをはじめスイレン、ポンテディア、カキツバタなど様々な水生植物を中心とした花の景観がみられる美しい憩いの場として整備し、利用者に親しまれています。

引き続き、ハス田修築池の適切な保全を図るとともに、「かわまちづくり」とも連携し、水運による繁栄、宝暦治水・明治改修などの治水事業の歴史や文化に触れることができるよう、隣接する船頭平開門及び木曽川文庫等の地域資源の一体的な利活用を図ります。



船頭平開門



ハス田

カルチャービレッジ

テーマ『多様な文化活動を通じた広域交流』

スポーツや文化交流など多様な活動を通じて多くの人々が集い、にぎわいを創出する地域交流の拠点として、「輪中ドーム」を活用した大規模な地域イベントやフットサル、テニスなど様々なスポーツの場として親しまれています。

引き続き、隣接する「輪中の郷」や水辺の楽校「水郷の森」との連携を深め、イベントの開催や情報発信等により地域交流の場としての魅力向上に取り組んでいきます。



多目的運動場「輪中ドーム」



地域連携イベント（水郷フェスタ）

河口地区



桑名七里の渡し公園

テーマ『木曾三川を軸とした交流と繁栄の歴史』

桑名七里の渡し公園は、川とまちを結び木曾三川を中心とした人や物の交流が生まれ、文化を育み、地域の繁栄につながった歴史を紹介する場として整備を進めており、平成27年度に部分開園していた住吉地区は、令和2年度に整備を完了し、追加開園しました。

今後は、歴史交流の場となる七里の渡し地区の整備を進めていきます。また、地域や民間企業との連携を図り、利用者満足度を高めていきます。



住吉地区全景



水辺マルシェ（住吉地区）

(5) ネットワーク形成のための整備・管理運営方針

①サイクリングロードのネットワーク化

木曽三川の雄大な河川空間をいかしたレクリエーションや健康づくりの推進に向け、木曽川上流域自転車道整備活用推進会議等の場による河川管理者や沿川自治体との連携のもと、サイクリングネットワークの整備や更なる利活用に向けた取り組みを進めます。

②周辺地域との連携による広域的な利用の促進

周辺の公園緑地や歴史文化資源を広域的にめぐり、木曽三川の雄大な景観や豊かな自然環境、歴史文化を幅広く楽しんでいただけるよう、訪日外国人旅行者にも配慮しながら、沿川自治体と連携してマップ作成等の情報提供や、イベントの実施など利用促進に取り組みます。

また、レガッタ、カヌー等のイベント開催やかまちづくりに係る舟運利用との連携など、河川水面をいかした広域的な利用ネットワークの形成に取り組みます。

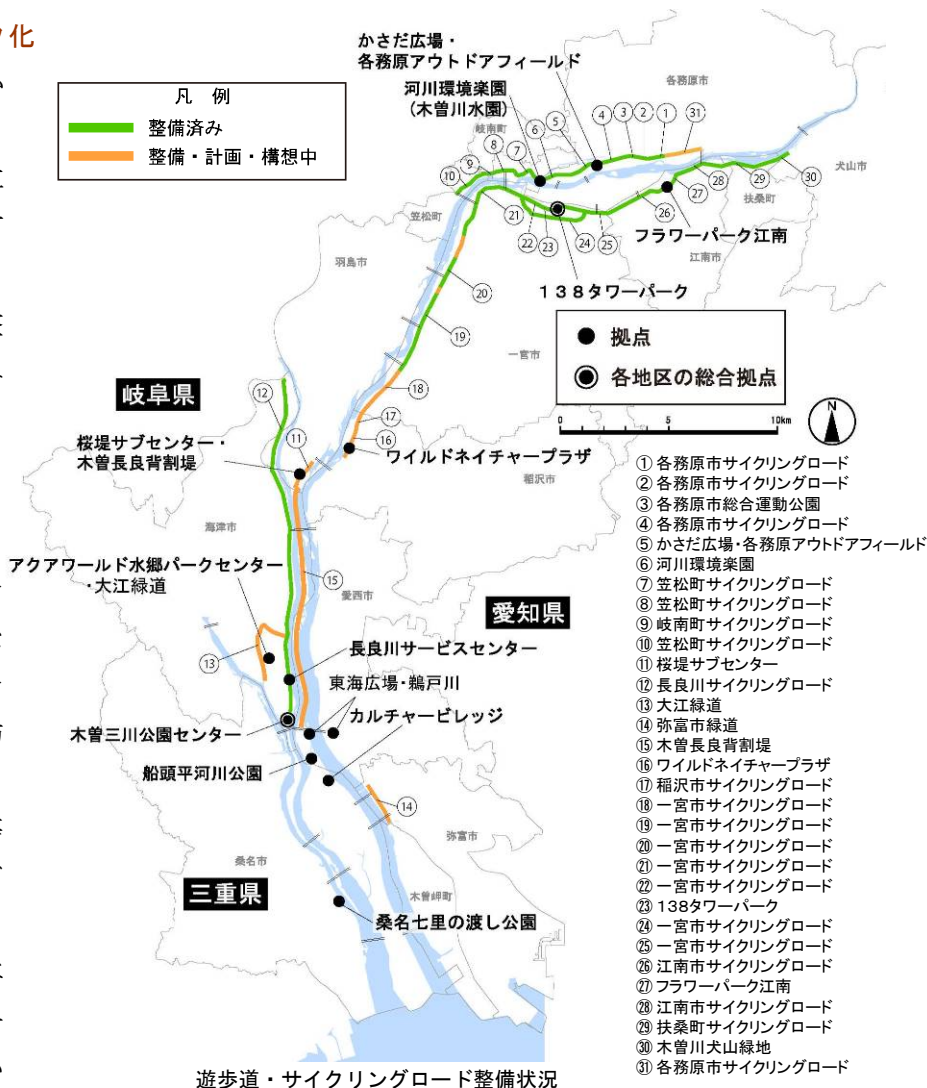
このほか、公園へのアクセス向上、交通渋滞や駐車場の不足などの課題について、関係機関と連携しながら、周辺のまちづくりと一体となって取り組みます。

③エコロジカルネットワークとしての魅力や意義の発信

木曽三川は濃尾平野のほぼ中央を貫き、中部圏の骨格的なエコロジカルネットワークとして重要な役割を果たしています。エコネット応援団（*3）など地域の取組みとも連携しながら、木曽三川流域生態系ネットワーク構想（*2）に基づき、自然環境の連続性の確保に留意した整備・維持管理に努め、木曽三川のもつ自然環境や風土の魅力を発信することで、水と緑のエコロジカルネットワーク形成の意義を広めていきます。

（*2）木曽三川流域の地域住民、NPO、企業、行政等の様々な主体が共通の目標のもとに協働し、多様な生態系を守り育み、あわせて地域づくりにもつなげていく取組です。

（*3）「木曽三川流域生態系ネットワーク（エコネット）」の形成に向けて、取組に賛同する地域の市民団体や民間企業など約70団体が登録されています。応援団では、各団体の取組やイベントなどの情報を共有するとともに、団体間の交流や協働を促進し、エコネットの形成を進めることを目指しています。



（６）事業効果

令和７年度までの間に本プログラムの施策を実施することで、次のような事業効果が見込まれます。

１）自然環境や歴史文化への理解の深化

木曽三川公園センターの展示内容の刷新や水郷の暮らしを体験できる堀田エリアの全面開園、多様な環境教育プログラムの充実により、公園を訪れる方に対し、木曽三川の自然環境や歴史文化への理解が深まります。

２）地域活性化と観光振興

●観光振興

フラワーパーク江南のⅡ期エリア、アクアワールド水郷パークセンター・大江緑道の堀田エリアの全面開園といった、これまで未供用だったエリアの追加開園や、木曽三川公園センターの水と緑の館の再整備などにより公園の魅力が向上し、入園者数が増加することにより、公園周辺の観光施設に波及効果をもたらします。

●地域の活性化

地域と連携したイベント開催の促進や、周辺の公園緑地や集客施設との一体的な利用を促すような取り組みの推進、かわまちづくりとの連携、SNSを活用した情報発信等をさらに強化することにより、地域の観光振興やにぎわいの創出に貢献できます。

さらに、地域ならではの景観を活かしながら、川を身近に感じられる緑道や、安全・安心で誰もが使いやすく快適な広場等を整備するとともに、市民やNPOの方々や民間企業と協働して質の高いサービスを提供することにより、利用者の満足度や公園への愛着が高まります。

３）健康増進・地域コミュニティの活性化

●河川空間をいかしたレクリエーションの提供による健康増進

スポーツ競技団体等と連携したイベントや大会の充実、アウトドアが楽しめるエリアの拡充、水郷景観を楽しめる緑道の整備、サイクリングネットワークの拡充など、広大な河川空間をいかした特色あるスポーツやアウトドアの場を提供することにより、レクリエーションを通じた健康増進に寄与します。

●地域コミュニティの活性化

フラワーパーク江南友の会やガーデナー倶楽部など、公園ボランティアの参画を進めることにより、人々の居場所となる地域コミュニティが生まれ、広がります。またコミュニティの結びつきが強まることで、共助出来るような関係が構築され地域の防災力が高まる効果が期待できます。



市民団体による自然観察会の開催
(138 タワーパーク)



留学生向け海津市 SNS 周遊ツアー
(アクアワールド水郷パークセンター)



アウトドア空間を活かしたバーベキュー
(桜堤サブセンター)



市民団体による砂丘保全活動
(ワイルドネイチャープラザ)

4) 河川の景観や自然環境の保全

●水辺景観や生物の生息・生育空間の保全

ワンド、ヨシ原、水辺林や樹林地などの保全を行うことにより、河川らしい水辺景観や生物の生息・生育環境が保全されます。これにより、木曽三川流域生態系ネットワーク構想（P14 *2）の実現や河川敷利用による樹林化防止など、流域全体の河川環境保全の取り組みや河川管理にも貢献します。



多くの野鳥が生息する樹林地の維持管理に関する勉強会（ワイルドネイチャープラザ）

●河岸砂丘の保全・活用

学識経験者の知見を基に砂の攪拌を行うことにより、希少な河岸砂丘である「祖父江砂丘」が保全されるとともに、協力団体と連携し年間を通した砂丘を活用したレクリエーションを進め、砂丘への関心を高めます。

5) 防災機能の強化

TEC-FORCE の広域進出拠点に位置づけられている河川環境楽園では、関係機関と連携した訓練等を実施し、円滑な災害応急対策の実施による被害の最小化、被災状況調査及び復旧工事の迅速化につなげます。

また、沿川自治体の広域避難地や一次避難地と位置づけられている拠点では、救護復旧活動の拠点としての機能や広域避難の中継地としての機能を発揮し、周辺地域の防災・減災に貢献します。



関係機関と連携した広域支援基地設置訓練の実施（河川環境楽園）

6) SDGs 達成への貢献

川に親しみ学ぶ場や歴史文化に触れることのできる場の提供（ターゲット 11.4）、ワンド、ヨシ原、水辺林や樹林地などの保全（ターゲット 6.6、15.1、15.5、15.8）、沿川自治体と連携した地域活性化（ターゲット 8.9）、安全・快適に利用いただける施設とサービスの提供（ターゲット 11.7）、災害時における避難地や防災拠点として機能の強化（ターゲット 13.1）、省エネルギー機器の導入や再生可能エネルギーの活用によるカーボンニュートラルへの貢献（ターゲット 13.2）により、SDGs の各ターゲットの達成に貢献します。

ターゲット 6.6：山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う

ターゲット 8.9：雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する

ターゲット 11.4：世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する

ターゲット 11.7：女性、子ども、高齢者及び障害者を含め、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する

ターゲット 13.1：すべての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する

ターゲット 13.2：気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む

ターゲット 15.1：国際協定の下での義務に則って、森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する

ターゲット 15.5：自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる

ターゲット 15.8：外来種の侵入を防止するとともに、これらの種による陸域・海洋生態系への影響を大幅に減少させるための対策を導入し、さらに優先種の駆除または根絶を行う



白山

乗鞍岳

御嶽山

中央アルプス

木曽三川センター展望タワーから望む長良川・木曽川の流れ

眼前に広がる広大な水面とともに、長良川サービスセンターの2kmにわたるレガッタコース、緑の帯をなす背割堤、遙かに広がる愛知・岐阜南部の街並み、遠方には白山、乗鞍岳、御嶽山、中央アルプスなどの山並みまでもが一望でき、国営木曽三川公園ならではの雄大な景観が楽しめます。